

「伊勢」と日本スタディプログラム レポート

Maximiliane Wagner

マキシミリアーヌ・ワグナー

(ドイツ)

今回の体験は、私の心の中に鮮やかな記憶として永遠に残ることと思います。本当にありがとうございました。

これまでの私の人生の中で、最も鮮烈な学習プログラムでした。私は、それまでとは全く異なる世界観や宗教観を持っていました。私はかつて東北大学に留学したことがありますが、今回のように日本人の心や宗教観を学ぶことはしませんでした。

日本人は豊かな歴史を持ち、礼儀正しく、時間に厳しく、そして秩序ある社会を築き上げています。それは、仙台のような大都市でも伊勢のような地方都市でも同様でした。三年前、仙台は震災による大きな被害を受けましたが、現在、町は震災前の輝きを取り戻しています。伊勢も約 500 年前に津波による被害を受け、また近い将来、同様の災害に襲われると推測されています。ドイツ人は、この災害の繰り返しを想像することができません。

日本は、独創的で個性豊かな歴史や文化を 1000 年以上も蓄積してきました。今回の学習を通じて、私は伊勢のことはもとより日本文化の奥行きを体感することができました。これは、パッケージツアーではできない体験でした。そして、日本について研究する外国人の多くは、民衆の歴史や生活や文化、都会ではなく、田舎での体験を望んでいます。

最後に、このプログラムを運営した皇學館大学のスタッフや学生と、様々な協力をしてくださった伊勢市民に御礼を申し上げます。私は、伊勢の伝道者として、他のドイツ人に宣伝することを約束して、お別れの言葉にいたします。